

【山崎名誉主宰の俳句】

いつしか

山崎 聰

関東に大雨警報かたつむり
蝶とんぼしきりにとんで大埠頭
夾竹桃咲いていつしか父のこと
誰にも会わずいつせいに蟬が鳴く
亡き人を思いいわし雲の彼方
そうかそうかとうなずいている虫の夜
落日をさいごまで見て灯の街へ
すこし寒くなつて東京の路地の奥
ひとりであるくあたたかい日の落葉みち
駅を出て港の方へ冬帽子